# 2025年度 シラバス＆レッスンプラン

| 科目 | 講師 | 提出 |
|---|---|---|
| 添乗業務実務 | 米田浩三 | 25年 1 月 12 日 |

| 学科 | 学年 | | |
|---|---|---|---|
| 国際観光ビジネス訪日科 | 2年 | 前期 | ○ |
| | | 後期 | |

| 授業の方法 | 講義 |
|---|---|
| 講義時限数 | 15 |
| 単位数 | 2 |

＜講義目的＞ この教科を学び、どのような力・知識が身に付くのか。

添乗業務の流れを理解し、更にインバウンド検定資格取得のための講義を行う。 添乗員とインバウンド・コーディネーターとしてお客様に寄り添って安全に旅行を楽しんでもらうために必要な知識を学ぶ。

＜講義概要＞

添乗業務のあらゆる場面でお客様に必要事項をどのようにご案内するのか、添乗業務の流れに沿って説明。 毎年12月に予定されているインバウンド検定の資格試験合格を目的として授業を行う。

＜授業の進め方＞

☑ 講義 ☐ グループワーク ☐ 実技・演習 ☐ フィールドワーク ☐ 実習
☐ その他（ ）

＜授業計画全体における講義・演習・実習の割合＞

講義 100 % 演習 % 実習 %

＜到達目標レベル（何を、どのレベルに）＞

1年前期では添乗員の業務及び心構え等勉強してきたが2年前期では国内旅行添乗知識及びインバウンド・コーディネーターとして即戦力として活躍するために必要な専門知識を学ぶ。
またインバウンド検定の合格を目指して実践的な業務知識を身に着ける。

＜レッスンプラン（時限ごとの項目スケジュール概要）＞

| 回 | 授業計画 | テキスト・使用資料その他 | 学生PC利用 |
|---|---|---|---|
| 1 | 添乗員としての必要知識 添乗準備 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 2 | 添乗員としての必要知識 ツアー出発時の注意事項 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 3 | 添乗員としての必要知識 移動中の注意事項 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 4 | 添乗員としての必要知識 食事中の注意事項 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 5 | 添乗員としての必要知識 観光中の注意事項 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 6 | 添乗員としての必要知識 自由行動中の注意事項 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 7 | 添乗員としての必要知識 オプショナルツアー ショッピング時 自由行動中の注意事項 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 8 | 添乗員としての必要知識 解散時及び報告時の注意事項 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 9 | 添乗員としての必要知識 宿泊関連知識 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 10 | 添乗員としての必要知識 JR関連知識 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 11 | 添乗員としての必要知識 バス関連知識 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 12 | 添乗員としての必要知識 航空関連知識 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 13 | 添乗員としての必要知識 トラブル対応 | 講師作成のP.Point | ☐ |
| 14 | インバウンド検定 資格試験対策 | 教科書 | ☐ |
| 15 | インバウンド検定 資格試験対策 | 教科書 | ☐ |

＜授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）＞

インバウンド検定資格合格を目指すことから過去問を繰り返し復習してもらうようにする予定。

＜成績評価方法・基準＞

**試験と評価方法**
☑ 試験期間中
☐ 講義時限内

**評価方法**
☑ 筆記試験（ 90 %）
☐ 実技試験（ %）
☐ 小テスト（ %）
☑ 受講態度（ 10 %）
☐ レポート（ %）
☐ 作品（ %）
☐ その他（ %）
↳（ ）

＜教員紹介＞

海外旅行専門旅行会社でチーフ添乗員を経験し世界中を旅行。その時の添乗経験を紹介しながら添乗業務及びインバウンド・コーディネーター業務に関して具体的に解説します。